

釣船寺たより

発行所 釣船寺
〒300-0641
茨城県稲敷市
浮島3583-1
029-840-7778

本年もよろしくお願ひします

皆さま、明けましておめでと
うございます。寒さ厳しい折にも、
年が改まりました。皆様とともに
新年を祝えることを嬉しく思いま
す。

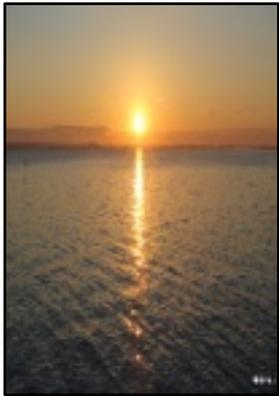
例年になく厳しい寒さが続きま
すが、暦の上では既に春を迎えま
した。新年を祝う「新春」という
言葉には、厳冬の中にも春の芽吹
きを心待ちにする願ひが込められ
ているのではないのでしょうか。

昨年は地震や台風による自然災
害も多数ございました。被災にあ
われた方々の一日も早い復興を心
よりご祈念申し上げます。多くの
方々が被災された方々を支援され
る様子は、誠に尊い行であると存
じます。これは仏行の徳目の一つ
にある「利行」そのものではない
でしょうか。言い換えれば「あな
たの喜びは私の幸せ」との願ひを
もって何事も行つ、という内容で

す。

常にまごころを持つて全てを行
なうことによつて、「ともに幸せ
に、ともに喜びあえる」事が出来
るのです。皆さま、ともに誠実な
願ひをもつて日々の生活を過し
ていきましよう。

私たち曹洞宗は、「ともに願ひ」
「ともに寄り添ひ」「ともに歩む」
この三つの言葉をスローガンとし、
皆さまが本年も仏天の加護のもと
日々平安であるようにと、そして
その願ひが叶いますように切に念
じております。皆様のご多幸を心
からお祈り申し上げて年頭のご挨拶
とさせていただきます。 合掌



忌み嫌う

新本堂が完成

昨年は、本堂が百年ぶりに新し
く建て替えられました。これもひ
とえにお檀家様のご協力があつて
のことと感謝いたします。新しい
豊の香りを楽しみながらの毎朝の
勤行は、寒さも忘れてしまつほど
に読経の音が弾みます。新築の本
堂のご法要、皆様のお越しをお
待ちしております。

仏の五智のおはなし

日々の生活に追われる中で、皆
さんは太陽の偉大さにお気づきで
しょうか。自然の中での太陽の偉
大さ、これを「大心」と言います。
大心は自然の中の太陽を目で見る
のではなく心で観ることです。見
るは視界に映つたものを認識する
だけにすぎませんが、観るは考察
し、観察することを意味します。
これを仏教では五つある仏智の中
の「妙觀察智」と呼びます。

この言葉、どこかで目にしたこ
とはございませんか？お塔婆に書
かれる言葉なのです。お塔婆には
回忌によつて五智がそれぞれ書か

れます。

菩薩様の中に、釈迦如来の脇侍
として、向かつて右側に文殊菩薩
がおられますが五つの鬚マゲを結つ
ておられます。これが仏の五智を
表現したものです。

- 一、法界体性智・・・存在してい
ること自体がすでに仏の智慧であ
るといふこと。
- 二、大円鏡智・・・この世のすべ
てを大きな（魔訶）、円（完全）
なる鏡で映し出すように見ること
が出来ること。
- 三、平等性智・・・すべての事柄
は、平等なものであるとみる力。
- 四、妙觀察智・・・世界のあらゆる
ものを観察しきる智慧の力。
- 五、成所作智・・・すべてのもの
を成し遂げさせていく力。

以上が五智です。これからお塔婆
を建てられる際には、こういつた
意味合いを頭に思い浮かべながら
ご先祖様に手を合わせるのもいい
ですね。

次回は西浜観音堂の お話をの楽しみ！

（注）釣船寺に鎮座されている文
殊菩薩様は、剃髪をされ修行僧の
姿で、獅子の上にお坐りになられ
ております。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参の折、郵便振込でも結構です。